

第1回 世界が目指す8つのゴール(目標)

日時 5月19日(水)午後7時～8時30分

会場 龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室

講師 佐藤 友紀 特定非営利活動法人開発教育協会大阪事務所 (URL: <http://www.dear.or.jp/>)

2010年度がスタートしました。

第1回から満席となり、多くの方々に受講していただきました。講師は、昨年度も講義をいただいた佐藤友紀さんです。ワークショップ形式で、開発教育、国際協力や世界の現状、ミレニアム開発目標(MDGs)などについて、受講者同士によるディスカッションを交えて学びました。



なぜ、私たちは国際協力をするのでしょうか。世界にはたくさんの色々な問題があります。すぐに解消できるわけでもありません。その問題を自分とは関係のない問題として捉えるのではなく、自分とのつながりや、自分でも解決できることがあるのか考えることから始めてみてはいかがでしょうか。

佐藤講師は、開発教育とは「私たち一人ひとりが、開発をめぐる様々な問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることでできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動」と定義します。

参加型の学びを体験する！

今回は参加型ということで、6～7人の班を作りワークショップ形式で学びました。

参加型のルールとして、受容 傾聴 ひとりじめしない 守秘といった4つがあります。参加型形式で学ぶのは、「聞いたことは**(忘れる)**、見たことは**(覚える)**、体験したことは**(分かる)**、発見したことは**(できる)**、**(誰かに教えたこと)**はより深く理解できる。『中国、老子の格言より』(* () 部分は穴埋めクイズとして、出されました。)というような理由や、受講者それぞれが、異なる経験・知識・意見などを持っていることを尊重し、それらを引き出し、対話をうみ、相互の学び合いを促進する役割を持っているからです。今回のワークショップでは、「フォトランゲージ」が使われました。

フォトランゲージ(写真が語るメッセージ)とは？

各班に配られた2～3枚の写真を見て、「誰が何をしているところで、どこの国が いいな、すてきだなと思うところ これは何とかしなくては!と思うところ」を考え、意見を出し合います。また、その写真から解決すべき課題としてキーワード(例: 貧困、環境など)を表します。その後、班でた案や意見を発表し、佐藤講師が写真について解説するという流れで進行しました。

今回、写真から考えられる問題としてあげられたのは、貧富の差・雇用、衛生、環境、ごみ問題・ストリートチルドレン・教育・乳幼児死亡率などがあります。



*左の写真は、実際に使われた
写真のうちの2枚です。

左: 女性の識字教室(ネパール)

右: 元ストリートチルドレン
(ネパール)

このようにグループディスカッションにより、たくさん問題があげられました。

次に、佐藤講師は「ミレニアム開発目標 (MDGs)」が決定された理由として、以下を指摘しました。

- ・世界の都市人口の3分の1の人々がスラムに住んでいる。なぜ、農村から都市へ人がやってくるのか、農村から出て行った先にどのような生活が待っているのか
- ・国によって女性の就学率はとても低く、小学校の未就学の人数は就学した人の数よりも倍近く違う
- ・女性が就学することで解決される問題は多くある
- ・その他に、教育、乳幼児や妊産婦の死亡率、HIV/エイズやマラリア感染、環境

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals : MDGs) とは？

2000年9月、ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンス(良い統治)、アフリカの特別な方向性を提示しました。この国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、ひとつの共通した枠組みとしてまとめたものがミレニアム開発目標 (MDGs) です。ミレニアム開発目標 (MDGs) は、2015年までに8つの目標、21のターゲット、59の指標を掲げています。

8つのゴール(目標)とは？

極度の貧困と飢餓の撲滅	普遍的初等教育の達成	ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
乳幼児死亡率の削減	妊産婦の健康の改善	
HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止		環境の持続可能性の確保
開発のためのグローバル・パートナーシップの推進の8つがあげられます。		

2008年、ミレニアム開発目標 (MDGs) は中間報告を迎えました。この段階では、目標をすべてクリアすることは難しい状況です。貧困の解消の手段の一つとして、佐藤講師は「人間から変えていくといった人間開発」について紹介してくださいました。

人間開発とは、「一人ひとりの命が大切にされること」と、「一人ひとりの能力が活かされること」です。こうして、一人ひとりが今世界が抱える問題・課題を意識し、一人ひとりの暮らしを良くしていくことが、世界の人々にとって生きやすい社会なのではないでしょうか。

今、私たちができるステップ！

最後に、佐藤講師は、今私たちができるステップについて提案してくださいました。
(現実を)知る 学ぶ・考える 行動する・行動に繋げる

初めはとても静かな雰囲気でしたが、各班で自己紹介や、クイズを解いていくにつれ緊張がとけ、にぎやかな教室へと変わっていきました。グループディスカッションをすることで、他の人々の考えを知り、お互いが刺激し合い、地球規模の課題や、国際協力とは何かを考えていただく第一歩を踏み出していただけたのではないのでしょうか。

<参考 web サイト>

ミレニアム開発目標(MDGs)パンフレット新版(UNDP)

<http://www.undp.or.jp/publications/pdf/millennium2009.11.pdf>